

## 会よりのお知らせ

### ○ 第124回幹事会

昭和62年12月14日(月)に東京、芝公園の機械振興会館において開催され、庶務、会計、「光学」編集、講習会・講演会などについて報告と審議が行なわれました。また新旧幹事の紹介があった後、幹事長選挙により日本光学の鶴田匡夫氏が新幹事長に選出され、同時に常任幹事も選出、決定されました。その後、光学懇話会の将来問題についての議論がなされました。

### ○ 昭和62年度第8回編集委員会

昭和62年12月15日(火)に東京、本郷の学士会分館において開催され、「光学」各号の編集状況と企画などについて報告と審議が行なわれました。

### ○ 昭和63年度光学シンポジウムのお知らせ

昭和63年6月24日(金)に東京、六本木の東京大学生産技術研究所(交渉中)において開催されます。詳細は本号104ページ掲載の案内をご覧ください。応募締切りは昭和63年3月9日(水)です。

### ○ 光計測研究グループよりのお知らせ

#### ● 第34回光計測研究会の報告

昭和62年12月14日(月)に東京、六本木の東京大学物性研究所において17名の参加のもとに開かれ、3件の講演「空間インターフェログラムを用いたフーリエ分光法」(理研・岡本隆之)、「Some developments in photodiode array Fourier spectrometer」(T. H. Barnes・機械技研)、「縞画像の形成と自動解析」(電通大・武田光夫)が行なわれました。いずれもフーリエ解析に関する内容で、充実した議論が続きました。

なお、当研究グループは発足以来6年を経過いたしました。その間、研究グループの当初からの目的の一つであった光計測におけるニーズとシーズの融合が産業界においても大規模に行なわれるようになり、会の在り方についても見直しの時期にきていると判断いたしました。つきましては、今後、別の形で生まれ変わることを期して発展的に解散することにいたしました。光学懇話会の会員の皆様にはさまざまな形でご協力いただきましたことをこの欄をお借りして感謝申し上げます。いずれ「さろん」に経緯をご報告するつもりであります。

(世話人一同)

問合せ先：〒336 埼玉県浦和市下大久保 255  
 埼玉大学工学部 豊岡 了  
 電話 0488-52-2111 内線 2241

### ○ 光コンピュータ研究グループ・微小光学研究グループよりのお知らせ

#### ● 合同研究会のお知らせ

下記の要領で、合同研究会(第27回微小光学研究会・光コンピュータ特別研究会)を開催いたしますので多数ご参加ください。

日 時：昭和63年4月1日(金) 9:00~17:30  
 場 所：東京工業大学大岡山キャンパス

南2号館 S 221室

東急大井町線大岡山駅下車

テ ー マ：「光コンピューティングと微小光学」

内 容：「アレイ光源」、「マイクロレンズ・アレイ」、「光アレイロジックプロセッサ」、「神経回路網と光インタコネクション」等、光コンピュータと微小光学の接点を探る講演約15件を予定

参 加 費：2,000円(MicroOptics News, Opcom News代を含む)

問合せ先：〒185 東京都国分寺市東恋ヶ窪 1-280

(株)日立製作所中央研究所第6部 有本 昭  
 電話 0423-23-1111 内線 3618

### ○ ホログラフィック・ディスプレイ研究グループよりのお知らせ

#### ● 第3回ホログラフィック・ディスプレイ研究会の報告

昭和62年11月27日(金)に京都、松ヶ崎の京都工芸繊維大学工業短期大学部において3件の講演、「再生像の鮮明化」(京都工芸繊維大学・久保田敏弘)、「大谷における大型ホログラムの撮影について」(富士写真光機・斎藤隆行)、「ホログラフィー芸術」(兵庫県立近代美術館・山崎 均)が行なわれました。今回は初めて関東地方を離れての地方開催とあって参加人員が減ることが懸念されましたが、京都、大阪、神戸、名古屋、広島などからの参加者があり、また東京からの参加者も意外に多く、結果としておそらく過去最多の63名の参加者があり、講演後の討論も最も熱心のように思われました。また、講演後に久保田先生の案内で工芸資料館の見学もあり、楽しい一日でした。(凸版印刷 岩田藤郎)

#### ● 第4回ホログラフィック・ディスプレイ研究会の予定

日 時：昭和63年2月26日(金) 14:00~17:00

場 所：千葉大学・松韻会館  
 JR 総武線西千葉駅北口下車徒歩1分  
 演 題：1. アートとしてのホログラフィー  
 三田村峻右 (筑波大学)  
 2. アメリカおよびカナダにおけるホログラ  
 フィー 勝間ひでとし (多摩美術大学)  
 3. ホログラフィック・ヘッドアップディス  
 プレイ 橋本礼耳 (東京光学機械)  
 問合せ先：〒260 千葉市弥生町 1-33  
 千葉大学工学部 岡田勝行  
 電話 0472-51-1111 内線 2874

2274 (B-1398ヨリ)	金子 紀夫	日立(株)・那珂工場
2275	別所 忠夫	(株)ケンウッド
2276	田中裕一郎	(株)本田技研
2277	鄭 晋濤	Sam Yang Optical Ind. Co., Ltd.
2278	井上 貞義	山水電気(株)
2279	岩田 弘	香川県工業技術 センター
2280	宮川 祐一	福井大・教育
2281	中島 悠	日本マイクロ光器(株)
2282	常田 佐久	東大・東京天文台
2283	西村 哲郎	花王(株)
2284 (B-1104ヨリ)	藤本潤一郎	(株)リコー中研

○ 関連国際会議のお知らせ

● SPIE's 32nd Annual International Technical Symposium on Optical & Optoelectronic Applied Science & Engineering  
 日 時：昭和 63年 8月 14日(日)～19日(金)  
 場 所：San Diego, California, U. S. A.  
 ● The International Congress on Optical Science and Engineering  
 日 時：昭和 63年 9月 19日(月)～23日(金)  
 場 所：Hamburg, West Germany  
 上記二つの国際会議について  
 問合せ先：〒192 東京都八王子市片倉町 1404-1  
 東京工科大学 梅垣真祐  
 電話 0426-37-2111 内線 2112  
 (Call for Papers ご入用の方は返信先を表  
 記した封筒を同封してお申込みください)

B 1801	松井 照幸	(株)メイテック
1802	鈴木 洋一	電通大・電子
1803	小泉 俊郎	(株)アマダ
1804	佐藤 優	ダイセル化学工業(株) 総研
1805	林 克巳	日本赤外線工業(株)
1806	宮原 信治	チノン(株)
1807	外川 雅之	帝人製機(株)
1808	湯浅 章	セントラル硝子(株)
1809 (A-2225ヨリ)	平野 隆	東京電機大・工 電気通信
1810	中田 俊彦	(株)日立・生産技研
1811	小池 智之	立石電機(株)・筑波研
1812	畑野 秀樹	パイオニア(株)・総研
1813	中川 英元	(株)ナカガワアプライ ドリサーチ
1814	渡辺 正信	電総研・電波電子部
1815	古谷 義之	興和(株)・調布研
1816	小柴 満信	日本合成ゴム(株)・ 東京研
1817	鈴木 享	ナカミチ(株)・技研
1818	梅津 清二	大分工業高専・機械
1819 (A-2195ヨリ)	矢野 盛規	シャープ(株)・中研
1820	小池 修司	(株)富士通・厚木研
1821	鈴木 敏夫	住友ベークライト 基礎研
1822	中川 芳樹	日本 IBM・大和研
1823	醍醐 秀博	(財)日本自動車研究所
1824	須永 康正	富士写真光機(株)

○ 新入会員

個 人		
会員番号	氏 名	所 属
A 2273 (B-582ヨリ)	高橋 亮雄	防衛大・物理

特別会員

特別会員 113	東ソー(株)・樹脂研究所
114	三井石油化学工業(株)・ 新技術研究開発センター
115	東海大学・工学部・光学工学科

## 1988年第13回光学シンポジウム(光学技術・学術講演会)講演募集

光学シンポジウムは光学懇話会会員の皆様が日頃の研究・開発成果などを発表し討論するために毎年6月に開かれてまいりました。今年度も下記の要領で第13回光学シンポジウムを開催いたします。なお、今回は午後の後半にパネルディスカッションを予定しています。多数の方々が積極的にご応募されることを期待いたします。

## i) 日時および場所:

日 時: 昭和63年6月24日(金) 10:00~17:00

場 所: 東京大学生産技術研究所(交渉中)

東京都港区六本木 7-22-1

## ii) 主 催: 応用物理学会光学懇話会

## iii) 応募講演の分野:

とくにテーマを定めません。生理光学, ホログラフィックディスプレイ, 微小光学, 光計測, 光コンピュータ, 光学素子の設計と製作, 光学材料, 光学機械, レーザー, オプトエレクトロニクス, 分光, 画像, 光物性に関する研究・開発など本会の活動の全分野とします。

## iv) 応募講演の性格および内容:

a) 原則として未発表のものとし。ただし、たとえば応用物理学会講演会での予報的報告の詳述発表は可能です。

b) 内容は上記の範囲内で独創性のあるものならよく、実際の問題や技術開発的性格の講演を歓迎します。また、問題提起の講演も認めます。

## v) 講演時間および方法:

20分。講演には OHP のみを使用します。

## vi) 応募資格: 光学懇話会会員(ただし、賛助会社所属の方も可)。

## vii) 応募方法:

講演題目、氏名、所属、連絡先、電話番号を明記し、200字以内の要約を添えて、下記あてにお申込みください。

[申込み先] 〒259-12 神奈川県平塚市北金目 1117

東海大学工学部光学工学科 若木守明 電話 0463-58-1211 内線 4426

## viii) 応募締切: 昭和63年3月9日(水)

## ix) 予稿の提出:

採用した講演についてはオフセット印刷用の原稿(図、表を含めて所定の用紙で4枚以内)を提出していただきます。締切は昭和63年5月9日(月)です。ただし、応募件数が多い場合は講演数を調整する場合があります。

## x) その他:

プログラムの詳細は追って「光学」に掲載します。